



学校運営委員会 事務局 第5号

【第5回 学校運営委員会】

第5回学校運営委員会を1月23日（木）15時30分より本校新会議室で開催しました。内容について報告します。

1 委員長あいさつ

- ・学校では、来年度計画を進めていることと思います。今の子どもたちの姿を大切にしながら進めていただければと思います。学校運営委員会としてできることがあれば、協力していきます。

2 学校長より

- ・3学期は落ち着いてスタートしている。全校朝会では、話を聞く態度がとてよくなった。
- ・あいさつ週間では、大きな声ですすんであいさつをする児童が増えた。
- ・インフルエンザは、大きな流行はなく、現在落ち着いている。
- ・3学期より、ほっとルームの運用が始まった。現在3名が通っている。地域コーディネーターを介して、地域の方に見守りを依頼している。
- ・今年度「都教科担任制推進校」として、高学年の教科担任制に取り組んだ。教科担任制は、教師の専門性を活かした授業や児童理解において、とても有効だった。その良さを区内に発信する予定である。
- ・今年度「都日本語指導推進校」として研究を行った。様々な実践事例を都に還元する。また、都が発行する「日本語指導ガイドライン実践編」に寄稿予定である。来年度も、引き続き推進校として実践を重ねる。
- ・校内では、2月14日（金）・15日（土）の展覧会に向けて、準備を進めている。
- ・来年度に向けて学校運営、学校行事、校務分掌等の見直しをしている。
＜主な見直し事項＞
 - ・夏季水泳指導の廃止について
 - ・宿題、ドリル・ペーパーテストの扱いについて
 - ・ノートとタブレットの使用について
 - ・みどりの学び舎での取組について
 - ・校務分掌の再編成と会議の精選について 等
- ・学校評価アンケートの報告

3 意見交換

○ノートとタブレットの扱いについて

- ・漢字学習等、実際に書くことで習得につながることは多い。また、学びの軌跡をたどるためにもノートは有効だと思う。
- ・ロイロノートの良さもある。「書く」活動と「ロイロノート」を使った活動、それぞれの良さを生かした学習をしてほしい。
- ・保護者としては、ノートやテストがあると、子どもがどのような学習をしているかが分かりやすい。
- ・映像で見えることも大切だが、読書を通して得るものも大切にしてほしい。
- ・タブレットでしかできない良さもあるが、視力低下などのデメリットもあると思う。ノートとの併用は続けてほしい。
- ・学習の転換期だと思う。先生方がそれぞれの良さを理解し、工夫されているのだと思う。引き続きお願いしたい。

4 令和6年度開催予定日

第6回 2月18日（火） ※15時30分より、会議室にて行う。